



かしま友愛

第26号

2014年1月1日

社会福祉法人
加島友愛会事務局
大阪市淀川区加島1-60-36

☎ 06-6101-6601

加島 社会福祉法人 第2回評議員会



地域福祉の充実をめざして

理事長 平田 純博

が好調な企業は、賞与アップや今春のベースアップが噂されています。

しかし、内需関連企業や中小零細企業の景気回復、労働者の賞与、春の賃金はどうなるのでしょうか。国民が潤い消費が伸びてこそ真の『経済再建』と思ふものです。

加島友愛会のレインボープラン第一期は、豊中市での障害者就労継続支援A型『ル・プラス』にてほぼ完了しました。豊中市や関連企業のご理解ご支援に、厚くお礼申し上げます。

二〇一三年度四月から年末の各事業運営・事業収支ともに順調にすすんできました。

新年度は、社会福祉レインボープラン第二期を始め、高齢者・障害者など地域福祉の充実をめざし、職員とともに努めたいと決意しております。

本年も、当法人の社会福祉事業に対し、皆様のご支援ご協力を賜りますようお願い申し上げます。



新しい年が、皆様にとって落ち着いた暮らしと実りある年でありますよう、ご祈念申し上げます。

皆様には、ご家族そろって健やかに新年をお迎えになられたこととお喜び申し上げます。

さて、東日本大震災の復興、福島第一原発事故による汚染水処理問題など遅々として進んでおらず、被災者は無論のこと多くの国民も心を痛めているものと思います。

昨年は、伊豆大島など台風や集中豪雨、突風・竜巻により、多くの災害に日本列島はみまわれました。フィリピンも台風・高潮により大災害にみまわれました。

『地球温暖化』問題が深刻になった現れたと、世界の大部分の人々は感じています。

他方、安倍内閣の『デフレ脱却』をめざす『アベノミクス』にて円安・株高がすすみ、自動車など輸出関連企業は『最高益』を発表しています。業績

コラム

かしまの光

東日本大震災から二年八月、十一月十八日に福島原発四号機を

廃炉にするため、核燃料の取り出し作業が開始された。千五百三十三体の核燃料棒のうち、初日は四体がキャスクと呼ばれる輸送装置に移動された▼二〇一四年末までに全てを移動することだが、すべての号機を廃炉するまでの作業は四十年かかるという。その作業の危険性は原発大國といわれるフランスをはじめ各国からも指摘されている▼想定外の大地震で、想定外の原発事故が起き、想定外の被害が発生した東日本大震災、これから四十年も続く廃炉にむけた危険な作業にどのような事態が想定されているのか、心配される▼原発事故を忘れることなく注視をしていきたいが、四十年後に自分は生きているだろうか。「次の世代、次の次の世代に託さねばならない」と心配する昨今である。

私にとって 仕事のやりがいとは④



加島希望の家

主任生活支援員
真嶋 広匡

友愛会にお世話になり11年が過ぎました。この仕事を続けてきて「感謝」の言葉の一言です。

毎日の利用者さんの笑顔がどれだけ私を元気にしてくれるか。チームみんなで支援を考え、取り組ませていただくことで、喜び・楽しみ・発見…毎日が充実しています！

こんな楽しい素敵な仕事を続けられるのも、利用者さん、ご家族、友愛会の仲間、私の家族のおかげだと思っています。

利用者さんと散歩やアルミ缶を回収することがあります。むつみ、アンダンテ、加寿苑の方々もいつも笑顔がいっぱいでお会いするのがとても楽しみです。

私の幼い子もアルミ缶や牛乳パックを手に取り「パパの会社のだね」と微笑んだり、幼稚園で障害のあるお友だちのお手伝いをしている姿を見ると熱いものが込み上げてきます。父親の背中を少しは見ていたのかな～。

今後も友愛会の一員として働けることに感謝し、自信を持って皆に話ができる仕事をしていきたいです。



“COCOLO” 相談支援センター

相談員
やまのは
山入端 ひとみ

“COCOLO”相談支援センターでは通所事業の地域活動支援センター／相談支援事業、福祉サービス計画を作成・調整する計画相談、長期入院の方への退院支援を行う地域移行支援の大きめに3つの事業を行っています。比重は異なりますが、スタッフ全員がその全ての業務を担当しています。業務は多岐に渡りますが、全ての業務に共通するのは『相談支援』だといえるかと思っています。

主に精神障害を持つ方との関わりがほとんどですが、入職当時は障害分野で働いた経験がなかった私にとって今日の業務を支える基本になっているのは、最初の3年程みっちり関わった地活の業務にあると思います。日々の活動プログラムはもちろんですが、気になることや困りごとがあれば聴くし医療や行政機関と連絡調

特集

加島友愛会の各施設の若手職員に原稿を依頼しました。題して「私にとって仕事のやりがいとは」。一人ひとりの思いが表れています。



アンダンテ加島

生活支援員
北村 智之

私にとっての仕事のやりがいとは、利用者の方の笑顔がみられた時です。

アンダンテ加島で生活されている方の中には、ご自身の要求や要望、思いを他者に伝えることを苦手とされている方も多くおられます。時には、私たち支援員に上手く気持ちを伝える事ができずにパニックに陥ってしまうということもあり、その時は気持ちを汲み取れない自分の力量不足に悩んでしまいます。

言葉で伝える事が苦手な方へは筆談を用いたり、生活状況から気になる事柄を推測してみたり、それぞれの方に適したアプローチの方法を日々模索しています。

利用者の方の気持ちを汲み取ることができた時は、自分自身がホッとする気持ちとともに、何とも言えない喜びを感じます。また、その時に見せてくれる利用者の方の笑顔や穏やかな表情がこれまでの失敗や苦労を消し去ってくれます。

利用者の方の気持ちに寄り添いながら、これからも安心して生活を送ってもらえる環境を作っていきたいと思っています。



整もする、たまたま天気が良かったのでバドミントンをしたかと思えば、小麦粉が余っていたのでおやつを作ったりもする、家を訪問したり掃除を手伝うこともあれば、病院や他の事業所に同行することもあります。そういった地活センターでの経験が、外部に出て行って相談支援を行う退院支援や福祉サービス計画の調整を行うことの下地につながっているような気がします。

同じ資格を持ち行政、病院、福祉施設で働く人も多いですが、こんなにも自由度の高い支援ができるのは地活センターの相談支援だけではないかと思っています。やることに意味、必要があるなら制度、事業の壁を越えて自由な発想のもとに支援ができること、これが相談支援の強み＝おもしろみであり、私にとってもやりがいにつながっていると感ずるところです。



リュミエール加島

生活相談員
河村 孝一

リュミエール加島は開所してから2年目の施設ですが、なかなか入居者数が安定せず、入居者数に合わせながら少しずつ業務を変更している状態です。個々の生活と共用の部分での生活がうまくいこう、常に介護職員と考えながら援助をおこなっています。

先日、入居者様の希望で買物ツアーを実施しました。普段、外出する機会の少ない入居者様にとって有意義なイベントになりました。また、買物に行くことで気分転換や社会とのつながりを感じてもらえることを改めて実感し、買物ツアーの定例化という課題も見つかりました。

入居者様の要望に応えながら、介護職員と課題を一つずつクリアしていく、課題をクリアすることで入居者様にとってより良い生活につながっていくことが、私にとっての一番の仕事のやりがいと思っています。



淀川区西部地域包括支援センター

ケアマネージャー
坂倉 日歌留

加寿苑内にある地域包括支援センターでケアマネージャーとして勤務している坂倉です。

昨年2月に育児休暇より復帰し、毎日をバタバタと過ごしています。

慌ただしい中でも仕事のやりがいや喜びを日々感じています。

私が仕事のやりがいを感じる時は、利用者の方の困りごとをお聞きし、一緒に解決方法を考える時です。その方の問題や不安が少しでも解消され、安心して生活を送れるようになったと言われた時には仕事の喜びを感じます。

また人生の先輩として、利用者の方から子育てについて等の様々なアドバイスをいただき、新米母親としてとても勉強になります。

まだまだ至らないところはありますが、利用者の方や職場の方に少しでもお返しできるようにこれからも頑張っていきたいと思っています。

写真で見る

2013年の
加島友愛会



新人研修

【3/26・27】 法人の歴史や接遇、救急救命等を学ぶ



「トレフル開設」

【4月】 グループホーム、ホームヘルプ事務所、地域交流スペースを設置



田植え

【5/18】 今年で19年目。10月には稲刈りも実施



理事会・評議員会

【5/26】 前年度の事業報告・決算報告を承認



「ル・プラス」オープン

【5月】 豊中市で初のA型作業所



障害者センタータ涼み会

【7/27】 法人各施設の利用者・職員も多数参加



第4回現場実践交流会

【8/3】 各施設の取り組みを紹介



南京市社会福祉サービス協会の視察団来訪

【9/24】 人材育成を中心に議論を交わす

加寿苑



お好み焼きボランティア来訪

まわられており、今年度は十一月が淀川区の時期となりました。当日は入所者とデイサービスの利用者の昼食用として提供しました。

十一月二十二日にお好み焼きの風月さんがボランティアに来てくださり、お好み焼きを百二十枚ほど焼いてくださいました。これは風月さんが企業の取り組みとしておこなわれているもの。大阪府下を地域別に一年間



今日の昼食は一年ぶりの風月のお好み焼き。朝のあいさつで皆さんに紹介すると、「楽しみやな」と期待されていた。

午前中にフロアで創作活動をしていると、1階から香ばしい匂いが上がってきた。「ええ匂いやな。おなか空いてきた」と、皆さん待ちきれない様子。お好み焼きが準備できると、「待ってました」とおかわりされた。

「もっと食べたいけど、もうおなかいっぱい」と、皆さん満足されていた。

(デイサービスの日誌より)

リュミエール加島



少し前のことになりましたが、九月十四日におこなった「敬老会」の様子を報告します。八月に入って看板・飾り付け、メッセージカードの作成、賀寿者表彰、ボランティアによる出しもの等の「敬老会」の企画・準備を始めました。看板や窓に掲示するお花飾りは、入居の皆さんの協力を得て作成しました。看板の文字は、書道クラブの皆さんに書いてもらいました。当日は司会のお祝いの言葉に続いて、淀川区西部地域包括支援センターの近藤さんにマジックショーを披露してもらいました。プロのマジシャンではあり



ませんが、いろんなマジックを見せていただき驚きあり、笑いありの楽しい時間となりました。そのあと、最高齢の方、米寿、傘寿、喜寿の四人の方に日ごろの感謝を込めてお祝いの賞状と記念品を贈呈し、ご入居の皆さんそれぞれに担当スタッフからのメッセージカードをプレゼントしました。皆さん大変喜んでくださり職員もうれしい気持ちになりました、「これから元気に楽しく過ごしていただけたら、頑張らなくては!」と改めて感じた一日となりました。初めて取り組んだ敬老会ですが、楽しいひと時を皆さんとともに作る事ができたように思います。

敬老会

11月1日(金)に「秋祭り」をおこないました。

「できるだけ利用者さんに販売や調理に関わってもらいたい」と考え、「ジュース販売」、「ポップコーン」、「ミルクせんべい」の3つに絞って模擬店をおこなうことにしました。会場の飾りつけや設営にも利用者の皆さんに関わってもらうことにしました。

ふだんはアルミ缶の作業をしている中庭にテント、机、椅子を並べ、ポップや看板を飾りつけ、今回は初めてポップコーン機もいれて祭の雰囲気を出しました。



準備ができると売り子役の利用者さんがオープニングセレモニーをおこない、いよいよ秋祭りの開催です。徐々にお客さんがやってきて盛り上がっていきました。

ジュース店では3種類のジュースを用意しました。チケットを受け取る係や呼び込み係だけでなく、注文を間違えないように種類ごとに担当する利用者さんが分かれて販売しました。自分の担当する

品が選ばれると「やったー!」と大きな声で喜ぶ方もでてきて盛り上がっていました。

ミルクせんべい店でも、練乳を挟む係、受け渡し係、チケット係と細かく係りを分けて販売してもらいました。時々「かけ過ぎた!」「何色やった?」といった声もでていますが、売り子さんも楽しそうです。

ポップコーン店からはバターと香ばしい香りが広がり行列ができていました。カップ詰め係の利用者さんも大忙しでした。

今回は「アンダンテ加島」や「むつみ」の利用者も参加し、賑やかな祭となりました。利用者さんからも「楽しかったわー」「またやりたい」と嬉しい言葉ももらい、秋祭りをやって良かったと実感できました。

加島希望の家



はつめんの「秋祭り」



アンダンテ加島



年に一度の一大イベント、一泊旅行に行ってきました。毎年利用者の方が3つの日程に分かれ、それぞれ違う行き先に向かいますが、今年度の最終班は、10月29、30日、白浜方面に行きました。

この旅行を心待ちにしている利用者の方も多く、中には事前にガイドブックで情報収集し、スタッフより白浜通になっている強者も!

貸し切りバスに乗り、最初の目的地、堺の「ハーベストの丘」へ。園内を少し歩いた後、バイキングの昼食となりました。みなさん好きな料理をたくさん食べ、早くも「大満足」といった表情が見られました。

雨が降るか降らないかの怪しげな空模様でしたが、植物に触れたり、羊の群れに近づいたり、吊り橋を怖々ながらも渡ったりと、思い思いの楽しみがあったようです。

バスに乗り込み一路白浜へ。3時間のドライブの後、旅館「紀州・白浜温泉むさし」に到着。早速温泉に入り、大浴場や打たせ湯などで旅の疲れをとります。

お部屋や砂浜で休憩した後は、宴会場での夕食が待っています。お刺身・天ぷら・お鍋など、豪華な料理をいただきました。ここでは好きなお酒を飲む人もちらほら。

お腹がいっぱいになった後は、カラオケ大会に突入。一人で気持ち良く歌う人、仲間と声を合わせる人、歌わずに聴き入る人など、ここでも楽しみ方はそれぞれのです。

2日目は、「とれとれ市場南紀白浜」で観光し、昼食をとりました。立ち並ぶお土産屋さん、魚の群れが泳ぐ大きな水槽、とれたばかりの魚が並ぶ販売コーナー、そして一番の見どころ、マグロの解体ショーなど、海の幸、白浜名産をお腹でも目でも味わったあと、帰路につきました。

楽しい行事を終えて満足そうな利用者さんを見てみると、「来年の旅行はどこに行くのかな」と早くも気になってしまいました。

一泊旅行で白浜へ

パン焼き大会を楽しむ

”COCOLO”相談支援センター

”COCOLO”相談支援センターでは何気なく立ち寄って気軽に参加できるプログラムやゆっくり過ごせる居場所なども提供しています。

特に毎年10月「よどがわ河川敷フェスティバル」へのフリーマーケットの出店は、地域交流の一環としてこれまで欠かさず参加してきました。今回も夏から準備を進めてきましたが、前日からの強風と雨のため残念ながら中止になってしまいました。

せっかく日曜日に集まったのに何もしないのはもったいなかったので、以前フリーマーケットの売上金で購入したオープンを使って急遽パン焼き大会を開催。焼きたてのメロンパンとウィンナーパンをおいしくいただくことができました。

突発的なプログラムでしたが、今回のようにのんびりと楽しめる活動も大切にしたいと思います。

自立（生活）訓練事業を開始



Link

Linkでは今年度より就労移行支援事業と就労継続支援事業B型に加えて、自立（生活）訓練事業を定員6名で開始しています。

この事業では、就職に必要な生活習慣を身につけることや、就職に対するイメージをつかむことを目的とし、さらに就労移行支援事業に移行し就職することを目標に取り組んでいます。また、支援プログラムでは、作業プログラムに加えて、学習や調理、運動などの機会を提供しています。

自立訓練事業での取り組みも半年以上経過し、利用者の皆さんにも変化が見えてきました。調理プログラムでは、包丁を持つ経験がなかった方も今では野菜をぶつ切りにすることができたり、作業場面では「失礼いたします」「お疲れ様でした」などの言葉使いができるようになったりと、少しずつ毎日の成果が感じられるようになりました。

今年度も残すところあと数か月、就職者12名を目標に職員一丸となり取り組んでいきます。



かしま障害者センター

青空太極拳教室を企画

むつみ

むつみでは月2回、近所の公園で青空太極拳教室をおこなっています。

施設のことを地域の方たちにもっと知ってもらいたい、施設の中だけでなく外に出て何か活動はできないか、そんな思いから始まり、1年が過ぎました。

太極拳は奥が深く難しい部分があるのですが、利用者さんもスタッフも、講師の先生がされているのを見様見真似で楽しく身体を動かしています。

どなたでも参加していただけるよう、時にはチラシを作って利用者さんと一緒に、近隣の家へポスティングをおこなっています。



これから寒い季節になりますが（冬でもやっています！）興味のある方はぜひご参加ください。第2・第4水曜午前10時～。雨天の場合はセンターでおこないます。

ピープルファースト大会に参加

地域生活支援部

年に一度全国規模で開催されるイベントとして、ピープルファースト大会というものがあり、グループホーム・ケアホームの入居者のなかにも毎年参加されている方がいます。

今年度は11月に地元大阪で開催されました。毎年参加しているだけあって会場では顔なじみに会う機会も多く、お互い元気にしていることを喜んでいました。

大会ではいくつかの分科会に分かれ、障害者虐待防止法や地域生活などのテーマに沿った話し合いや、恋愛や元気が出る話を中心におこなうレクリエーションに取り組めます。そこでは、積極的に質問したり、自分の意見を発表したりと、ホームではあまり見られないような入居者の姿も見られました。

自分の住んでいるところとは遠く離れた場所で、自分たちと同じように頑張っている人がいるということを知ることができ、また他の人と一緒に活動するということが、参加した人それぞれが何かを得られたと実感できる機会となっているようです。

次は沖縄で開催されるということで、今回参加された方は早くも次回の予定を気にされています。

ブログ

はじめました のぞいてみてください



加島友愛会の各施設でブログによる情報発信がおこなわれています。「どんな活動をしているの?」「職員や利用者の思いは?」など、簡潔にまとめられています。ぜひのぞいてみてください。

http://blogs.yahoo.co.jp/l_kashima

リユミエール加島

http://blogs.yahoo.co.jp/kibou_blog

加島希望の家

http://blogs.yahoo.co.jp/link_kss

Link・障害者就労支援事業部

<http://blogs.yahoo.co.jp/kajuenkuwano>

加寿苑

http://blogs.yahoo.co.jp/andante_kashima

アンダンテ加島



加島希望の家・かしま障害者センターむつみでは、利用者の送迎サービスの充実を図るために送迎車両を購入しました。さつそく今年よりコース増設等を実施していきます。
購入にあたっては、「NHK 歳末たすけあい配分金より」援助をいただきました。ありがとうございました。

NHK 歳末たすけあい配分金で 送迎車両 購入!

❖ 後援会の活動にご協力ください ❖

後援会にご加入いただき、ありがとうございました。紙面をお借りしてあつく御礼申し上げます。2013年度の会員加入状況を(11月末現在)をお知らせします。個人会員のうち、新規に加入いただいた方は6人にのぼります。

後援会加入状況	団体	14団体	18口	180,000円	
	個人	149人	159口	513,000円	合計 693,000円

加島友愛会が運営するアンダンテ加島及び加寿苑の2施設に設置されていたNTT所管の緑の公衆電話が撤去される可能性が高くなりました。施設利用者及びご家族の方々の利用に供するため、PてれほんCⅡを2施設に設置の支援を行う予定です。引き続き、加島友愛会後援会をよろしく願いいたします。

振込口座 ゆうちょ銀行 00960-7-48904
加島友愛会後援会



* 見学会のご案内 *

開催日 **1月11日(土)・12日(日)**
1月18日(土)・19日(日)
 時間 **10:00～16:00**

- △見学(居室・食堂・機能訓練室・岩風呂・ひのき風呂)
- △ミュージック・ケア(浦川先生) 11日(土) 14:00
- △フラダンス(ボランティア) 19日(日) 14:00

** 期間中見学の方に特典 **

体験入居 1泊分 5,000円無料!

見学会開催期間中にご予約の上見学され、3泊4日から5泊6日の体験入居を申し込まれた場合、1泊分5,000円を無料にさせていただきます。この機会にぜひ体験入居をお申し込みください。

ご予約・お問い合わせ・ご相談

フリーダイヤル **0120-087-322**
 電話 **06-6308-7788**

リュミエール加島 大阪市淀川区加島4-16-35

見学会開催期間以外の見学も受け付けていますので、ご予約ください。ただし、体験入居の1泊分5,000円無料は適応しません。ご了承がいます。

リュミエール加島では…

- 岩風呂・ひのき風呂で温泉気分での入浴
- 専属理学療法士によるリハビリ
- 専属鍼灸マッサージ師のマッサージ・鍼灸
- 滋賀産直の低農薬有機栽培米のごはん

…等々充実したサービスを提案しております♪
詳細はご見学時に説明させていただきます。



JR東西線加島駅下車北へ徒歩8分
 梅田・十三より市バス97号「神崎橋」「加島駅」行き
 阪急バス「加島駅」行き「加島西(加島3丁目)」で下車

リュミエール加島

介護付有料老人ホーム



ご利用料金

介護付有料老人ホーム

Aタイプ (約45㎡)	入居一時金	4,000,000円
	キッチン・ユニットバス装備	
	月額利用料	248,600円
		※好評につき満室
Bタイプ (約20㎡)	入居一時金	1,800,000円
	月額利用料	136,800円

※月額利用料には家賃、管理費(居室の光熱水費含む)、食事代・リネン代(Aタイプは2人入居、A・Bタイプとも30日で計算)が含まれます。

※介護保険自己負担分等は別途

ミント小規模多機能型住宅介護

(通い・宿泊・訪問サービス)

- ・宿泊代
一泊2,000円 リネン代 1セット105円
- ・食事代
朝食/200円 昼食/600円 夕食/600円

※介護保険自己負担分等は別途

体験利用受付中

リュミエール加島の体験入居	一泊/5,000円 (5泊6日まで可能)
ミントの通いサービスの体験利用	700円 (昼食・おやつ)

インターネットで検索 リュミエール加島

定期的に更新している「リュミエール加島のブログ」や、「ホームズ」「オアシスナビ」等の紹介サイトがご覧になれます。

